

【地理院マップシートご利用にあたって】

本ソフトウェアは、Microsoft(R) Excel のマクロを用いて開発されたもので、帳票形式のファイルと KML ファイル等への入出力機能を有し、属性情報等を編集することができます。

また、本ソフトウェアで出力できる KML ファイル、GeoJSON ファイルは、「地理院地図」において重ね合わせ表示できます。

◆ 動作環境

本ソフトウェアに組み込まれているマクロは、OS:Windows 11 で、Microsoft(R) Excel 2024 及び Microsoft(R) 365 Apps for enterprise に含まれる Excel (バージョン 2509) での動作確認をしています。

◆ 注意事項

- ① 本ソフトウェアは、住所情報から座標値への変換にあたって、東京大学空間情報科学研究センター（東大 CSIS）のアドレスマッチングサービス（以下、CSIS サービス）のエンジンを用いた Web API の提供を受けています。

利用にあたっては、以下の URL に示す CSIS サービスの利用条件をご参照ください。

<https://geocode.csis.u-tokyo.ac.jp/home/csv-admatch/>

- ② 住所情報から座標値への変換では選択された列の文字情報が、座標値から住所への変換及び標高の取得では座標の情報が、インターネットを介して、各サービスを提供するサーバーに送信されます。
- ③ ファイルの形式によっては、読み込みできない場合があります。
- ④ 本ソフトウェアを使用し、作成したデータによって発生した利用者の直接又は間接の損失及び損害については、利用者がその一切の責任を負うものとし、国土地理院は他者に対していかなる責任も負わず、かつ、他者のそれらの損失及び損害に対して一切の賠償等を行わないものとします。
- ⑤ 本ソフトウェアに組み込まれているマクロの解析・改ざんを禁止します。
- ⑥ 本ソフトウェアは、利用者に予告なく改良等を行います。最新版については、下記の問い合わせ先にお尋ねください。

◆ よくある質問と回答

以下の URL にこれまでにお問い合わせがあった質問とその回答を掲載していますので、ご確認ください。

http://renkei2.gsi.go.jp/renkei/130326mapsh_gijutu/mapsheet_qa.html

◆ お問い合わせ

以下の URL から問い合わせフォームに進み、必要事項を記載のうえ、送信ください。

<https://geoinfo2.gsi.go.jp/contact/inquiry2.aspx?pcode=1005>

※ ここに記載されている事項は、利用者への予告なしに変更される場合があります。